

# 育てよう

# 鏡野のよい子シリーズ



## 「上齋原に思いを馳せて」

十二月の初旬、息が白く見える朝。北の山々が白く輝いているのが見え、「そろそろ上齋原を雪が覆う季節だな」と、思いを巡らせます。昨年度まで勤務していた上齋原の校舎は、冬になると、冷たい空気を纏います。しかし、登校してきた子どもたちの澄んだ元気な声が、私たちを温めてくれます。「子どもたちが学校に来る」というのは当たり前のことかも知れません。しかし、子どもたちが、地域の人々に、教員に、「元気や活力を与えてくれるのです。それが、地域の中に学校があるということだと思います。」

「上齋原ブランド」を意識付けた。これは、私が上齋原に赴任して強く思ったことです。当たり前前だと思つて過ごしている地域の景色や人々の存在が、本当は特別なことなのです。地域一帯が雪に覆われる白銀の世界、春の訪れを告げる露の臺。水田。齋(ヤマボウシ)の美しさに、透き通った川の流れ、山を賑やかにする紅葉。このような、上齋原の自然、生き物、地域の方々の生活が、季節の移ろいを教えてくれるのです。

また、地域の方々は、「子どもたち・学校・地域への思い」を、常にそれぞれの立場で考えてくださっています。その思いを語る言葉から、学校のすべきことにいつも気付きかされてきました。行事や地域の伝統等も含め、全てが特別であり、「上齋原ブランド」なのです。

今、上齋原小学校にいる七人の児童たちは、春から新たなスタートを切ります。少人数だからこそ、誰もが主役となり役目を成し遂げてきた自信、全員で同じ体験をしたこと、地域の方と語り合った経験。そこで培った力を、「ブランド」にして、これから先、自分の力を十分に発揮していつて欲しいと願っています。

私は本年度から、南小学校に勤務しています。まだ十分なことではできていませんが、「ここの南小学校でも「地域の方と共に児童を育てること」、「地域・学校・学級の中で大切な存在であることを児童一人一人に気付かせること」に、丁寧に取り組んでいきたいと思っています。」

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

南小学校 影山 知美

# のびのびひろば

藁を半分に分けてお飾り作りスタート!!



## お飾り作りをしたよ♪ 芳寿会との交流会



上手に三つ編みできるかな?



次はここにすればいいかな?



芳野こども園では芳寿会の方と年3回の交流会をしています。今年度最後の芳寿会との交流会は、お正月に飾るお飾りを作りました。

お飾りに付けるそれぞれの物の由来を聞いた後、おじいちゃん、おばあちゃん達がとても優しく教えて下さり、立派なお飾りが完成しました。

お部屋や靴箱、廊下、テラスなどをみんなで大掃除した後、園内に付けていきました。

年神様をお迎えして、2020年も一年間良い年になりますように!!



みんなで揃って『はい、チーズ!』

一年間の交流のお礼にみんなで作った干支の飾りをプレゼントしたよ♡



(芳野こども園)